

目 次

ページ

山梨県立美術館協議会資料

平成30年10月26日(金)

山梨県立美術館

<u>山梨県立美術館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県立美術館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立美術館活動報告(概要)</u>	6
<u>40周年事業について</u>	7
<u>観覧者数の推移</u>	8
<u>施設利用者の状況</u>	9
<u>平成29～30年度 特別展等一覧</u>	10
<u>教育課程の実施状況について</u>	12
<u>指定管理者活動報告</u>	17

山梨県立美術館協議会委員名簿

任期：平成30年10月1日～平成32年9月30日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	ほりうち まさ基 堀内 正基	山梨県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (北杜市教育長)
"	しおじま あけみ 塩島 明美	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	社会教育関係 (市川三郷町社会教育委員)
"	むこうやま ふじお 向山 富士雄	南アルプス市立美術館館長	学識経験者 (南アルプス市立美術館館長)
"	つるた いちよう 鶴田 一香	山梨県文化協会連合会代表	学識経験者 (山梨県文化協会連合会会長)
"	ふるや ともこ 古屋 知子	元山梨県教育委員会教育委員長	学識経験者 (元山梨県教育委員会教育委員長)
"	てづ かよしひこ 手塚 義彦	山梨美術協会代表	学識経験者 (山梨美術協会代表)
"	たかの まごぞえもん 高野 孫左之門	株式会社吉字屋本店代表取締役社長	学識経験者 (株式会社吉字屋本店代表取締役社長)
"	のぐち えいち 野口 英一	報道関係	学識経験者 (山梨放送・山梨日日新聞社社長)
"	かねまる やすのぶ 金丸 康信	報道関係	学識経験者 (テレビ山梨代表取締役社長)
"	つじむら かずと 辻村 和人	報道関係	学識経験者 (NHK甲府放送局局長)
"	むとう まさみ 武藤 正美	山梨県立美術館協力会代表	学識経験者 (山梨県立美術館協力会副会長)
"	みざわ ちよこ 小澤 智子	公募委員	家庭教育関係者
"	かわぐち ちよこ 川口 園子	公募委員	家庭教育関係者
任命	のなか るみ子 野中 るみ子	山梨県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (甲府市立石田小学校校長)
"	さいき くにこ 斉木 邦彦	山梨県高等学校長協会代表	学校教育関係 (県立甲府西高等学校校長)

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。（会長等）

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	三年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（平六教委規則二・旧第二条線下）

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ振興審議会	過半数

（意見の陳述）

第九条 関係職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年三回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（昭六一教委規則一・旧第十一条線下、平元教委規則五・一部改正）

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	高校教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ振興審議会	スポーツ健康課

（昭六一教委規則一・旧第十二条線下・一部改正、昭六三教委規則七・平元教委規則五・平四教委規則三・平六教委規則二・平八教委規則四・平九教委規則八・平一九教委規則三・一部改正）

（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

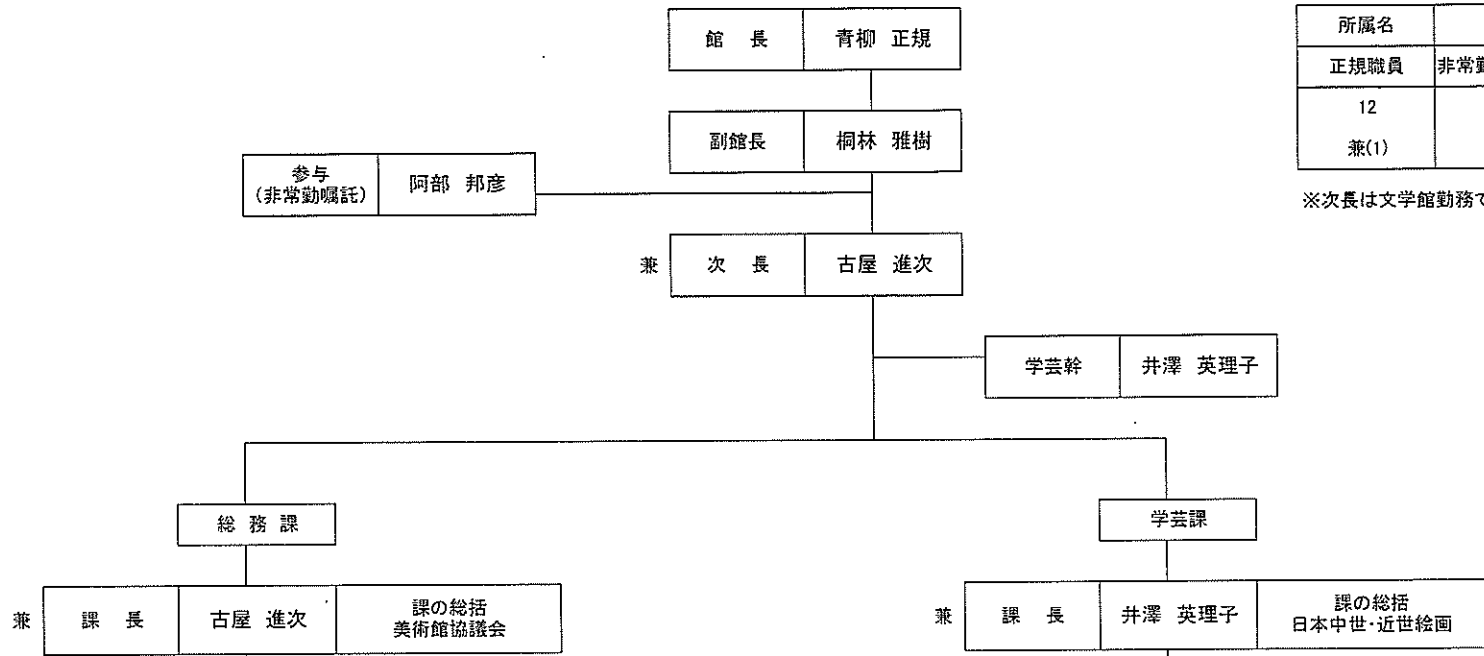
第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

美術館組織図

平成30年4月1日現在

所属名	県立美術館		
正規職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	計
12 兼(1)	6		18 兼(1)

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務



職名	氏名	主たる業務
リーダー 主幹	望月 博史	担当の総括 予算管理
主任	高山 慎之介	会計・経理 旅費・福利
非常勤 嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会
非常勤 嘱託	川村 瑛子	事務補助

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務

学芸担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	平林 彰	担当の総括 日本近世・近代絵画
学芸員	太田 智子	西洋近代絵画、現代美術
学芸員	小坂井 玲	西洋近代絵画
学芸員	森川 もなみ	西洋・日本近代美術
学芸員	下東 佳那	日本現代美術・現代洋画
非常勤 嘱託	雨宮 千鶴	学芸補助
非常勤 嘱託	伊藤 茜	学芸事務

普及担当

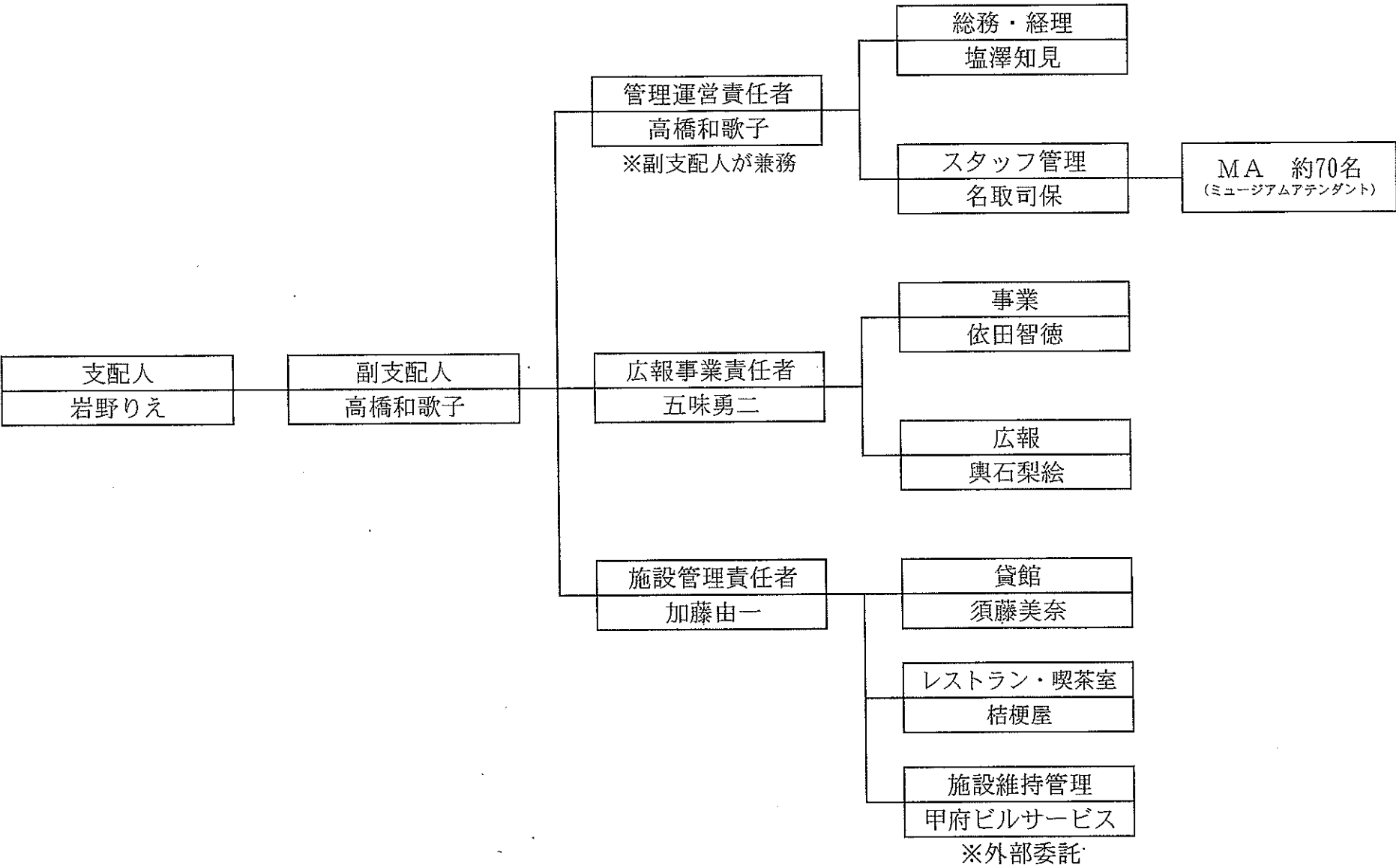
職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	高野 早代子	担当の総括 県関係作家、保存
主査・ 教育主事	瀧澤 智子	美術館教育
副主査・ 教育主事	百瀬 淳一	美術館教育
非常勤 嘱託	保坂 広光	協力員指導

美術館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会 職員	小杉 佳子	協力会経理
協力会 職員	矢崎 理江	協力会経理

平成30年度指定管理者
組織体制（文学館と兼務）

平成30年10月1日現在



山梨県立美術館活動報告（概要）平成30年度

美術館活動における長期目標

○県民の美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため以下のような長期目標を掲げる。

【展示／見る】幅広いジャンルでの質の高い特別展示とともに「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などのコレクションを使った常設企画展示の一層の充実を図る。

【教育普及／学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の充実化にともない、より多様な学習機会の提供を行う。

【付加価値・魅力／憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行う。

平成30年度前期の活動の状況

【展示／見る】・多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力あるコレクション展を開催する。

（コレクション展）

- ・魅力的なコレクション展をめざし、テーマ性を打ち出した企画展示を年4回行う。
- ・開館40周年記念として、ジャン＝フランソワ・ミレー《角笛を吹く牛飼い》を購入、公開（9月11日～）。
- ・開館40周年記念リレー企画「県美図鑑」と銘打って、各分野の名品をはじめ、学芸員こだわりの作品などを幅広く、また丁寧に県美コレクションを紹介。

春季「県美図鑑－日本画」／夏季「県美図鑑－現代美術」「日本画と工芸」

秋季「県美図鑑－版画」「日本画、墨画、水彩画」／冬季「県美図鑑－洋画」（予定）

・「ミレー館」の開館以降、集客を維持するための魅力を改めて県外にPRするための積極的な広報活動の実施

（特別展） ※別紙 H30 特別展概要参照

- ・愛されて40年－100万回生きたねこ 佐野洋子の世界展 4月21日（土）～6月17日（日）
- ・魔法の美術館展 光と遊ぶ、真夏のワンダーランド 6月30日（土）～8月26日（日）
- ・銅版画の詩人 追悼 深沢幸雄展 9月1日（土）～10月8日（月・祝）

（キュレーターズ・アイ）

- ・林裕子展 4月24日（火）～7月1日（日）

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

県民のニーズに対応した美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者、障がい者への実技講座やレクチャーなどの実施。

学校と連携して、児童生徒への鑑賞・実技指導を実施。また、学校教師への鑑賞教育・実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深めた。

美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業、鑑賞研修会などを実施。

（活動内容）

- ・みんなでつくる美術館（みなび） 「しっばい」は「せいこう」のもと ～アイデアいっぱい夢いっぱい～
- ・キッズプログラム（小中高生対応） ・校外学習対応として展示室での鑑賞、実技体験及び職場体験活動
- ・学校への出前授業 ・アートボックスの貸し出し・アートカードのレクチャー ・造形広場 ・創作教室
- ・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座
- ・ことぶき勸学院への協力（総務課対応） ・ギャラリー・トーク ・映画会
- ・美術体験・実技講座（初心者・障がい者含む） ・県民ギャラリー利用者の創作活動PR支援

【付加価値・魅力／憩う・広報活動】＜魅力あふれる美術館をめざして＞

（質の高いサービス提供）

- ・美術館ボランティアのスキルアップをめざして研修・学習会を実施。

（様々な付加価値の創造）

- ・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催。（SPS）
- ・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議。
- ・ミュージアム甲斐 in 券並びに定期観覧券所持者への割引サービス。売店、レストラン。
- ・首都圏からの来館者増を目的に、中央紙への広告の掲載。（SPS）
- ・芸術文化のまちづくりでNPOを支援＝貫川アートフェスタ後援

（県・指定管理者・県民との円滑なリレーションシップ）

- ・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施。
- ・展覧会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた。
- ・新たな集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

（キャッチコピー制作）

- ・美術館のイメージアップとなり、周知や来館を促すような、中長期的視点から「種をまく 世界がひろく」をキャッチコピーとして、新たな《種をまく人》のデザインとともに広報展開。

平成30年度後期の具体的活動予定と中期目標

1. 山梨の美術を再検証するとともに、郷土関係作家の新たな展覧会を企画立案する。

2. 様々なジャンルや時代・国の美術を紹介する特別展をバランス良く展開する。

3. アンケート調査などを取り入れ、県民ニーズ等の把握に積極的に取り組み集客力の向上を図る。

4. 広報活動の強化。

【展示／見る】

- ・開催趣旨と目標（集客、研究、人気もの etc）を明確にした企画展の開催と、リピーターとして何度も美術館に行きたくするような魅力あるコレクション展示の創出を図る。

（コレクション展）

従来の常設展のイメージを一新した展示空間の創作に心がけ、テーマ展示や企画コーナーを設けるなど、新たな魅力ある展示を行う。

- ・ミレー館・テーマ展示室・萩原記念室を使った年4回の展示替えを実施。
- ・テーマ展示や新設コーナーを設け、特別展のようなタイトルを付けるなど、興味を持って鑑賞してもらえるような工夫や配慮し、積極的に広報する。（特にテーマ展示室）

（特別展）※別紙 H30 特別展概要参照

- ・シャルル＝フランソワ・ドービニー展 パルビゾン派から印象派への架け橋 0月20日（土）～12月16日（日）

（新収蔵品展）

- ・平成30年度 新収蔵品展 平成31年2月2日（土）～3月3日（日）

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

- ・アート・カードを導入した、新たな作品鑑賞の「見るヒント」「感じるヒント」の一助になる実践を紹介。
- ・県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや障がい者への実技講座なども実施していく。
- ・教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教育等にも活かしていく。
- ・学校と連携して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校の教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

（活動内容）

- 「博学連携を中心とした学校・社会教育施設との連携強化」
- ・キッズプログラム（小中高生対応） ・映画会 ・職場体験授業 ・校外学習への対応（オリエンテーション、展示室での鑑賞、実技体験） ・ギャラリートーク ・学校への出前授業 ・アートボックス貸出
- ・施設の貸出 ・創作教室 ・造形広場 ・みんなでつくる美術館（みなび） ・教師のための鑑賞研究会
- ・大人のための美術講座 ・美術体験・実技講座（初心者・障がい者含む） ・ギャラリー・トーク
- ・アート・カードのレクチャー及び貸出

「地域との連携強化」

- ・美術館周辺校との連携（新田小学校の総合学習の時間を利用したギャラリー・トークの実施）。

【付加価値・魅力／憩う・広報活動】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取り組みを実施。

- ・質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア（案内、解説、情報 etc.）のスキルアップに務める。
- ・様々な付加価値の創造に継続して取り組む。
- ・地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。
- ・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。
- ・県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。
- ・やまなしの文化情報ネットワークやノウハウを最大限活用した積極的な広報とパブリシティの実施。

～開館40周年記念事業～

- ・開館40周年記念事業の一環として「文化の種まきプロジェクト」を実施。 ※別紙参照
- ・「文化の種まきプロジェクト」の一部は、文化庁「平成30年度文化芸術振興費補助金 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」から補助金が交付される。

▶▶▶▶▶これらの取り組みを着実に進めて、より多くの県民の来館に結びつける。

40周年記念事業の展開 ⇒ 山梨県立美術館の県内外への一層のアピール; 40周年を節目に、更なる未来に向けての文化の種まき

事業展開戦略 ⇒ 連続した県立美術館の露出・話題化 ⇒ キャッチコピー ~ 種をまく 世界がひらく

◇具体的事業

1 展示・各種事業

コレクション企画展～山梨県立美術館物語
40年間のストーリー & ヒストリー
平成30年1月2日～3月4日

リレー企画「県美図展」 - 館収蔵品を春夏秋冬ごと紹介し、収蔵品・美術館の魅力を伝える。

- ①春=日本画 : 3月13日～6月10日
- ②夏=現代美術: 6月12日～9月17日
- ③秋=版 画 : 9月19日～12月9日
- ④冬=洋 画 : 12月11日～平成31年3月3日

キャッチコピー・ポスター・グッズ展開事業 4月13日～

- 美術館のキャッチコピー=「種をまく、世界が開く」の発表、 ○コピーを入れたポスターを首都圏JR駅に掲出・動画のYouTubeでの配信、
- また、企業との連携によるポスター図柄を入れた信玄餅・印伝、てぬぐい等グッズ販売

特別展
「100万回生きたねこ」
佐野洋子の世界展

特別展
魔法の美術館
(6月30日～8月26日)

特別展
銅版画の詩人 追悼
深沢幸雄展
(9月1日～10月8日)

特別展
シャルル=フランソワ・ドービニー展
バルビゾン派から印象派への
※日本初 (10月20日～12月16日)

文化の種まきプロジェクト ~ アートの種まき茶会など気軽に
文化・美術に触れてもらう各種事業の実施

秋～冬 ; 文学館、甲府市及び甲斐市と連携し、実行委員会方式で実施。
文化庁の「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援」に採択され、
補助金を活用して実施。

美術館を核にした本県文化の振興の促進

2 式典

40周年記念購入作品=ミレー作品の発表
記者発表 9月10日(月) (以降、展示)
一般公開 9月11日(火)

40周年記念式典
10月19日(金)

※6月議会に購入予算案提出

山梨県立美術館の観覧者数の推移

年度	開館日数	常設展	特別展・新収蔵品展等	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,803	175,053
22	310	98,986	61,123	160,109
23	310	103,181	84,090	187,271
24	311	120,650	67,736	188,386
25	306	97,569	59,204	156,773
26	308	137,316	112,138	249,454
27	307	97,675	103,380	201,055
28	306	80,474	68,718	149,192
29	305	76,898	67,127	144,025
計	11,791	9,602,939	3,722,425	13,325,364

平成30年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	6,541
5	27	8,156
6	26	6,781
7	26	8,471
8	28	13,281
9		
10		
11		
12		
1		
2		
3		
計	133	43,230

平成29年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	6,756
5	27	8,811
6	26	6,561
7	26	5,949
8	29	9,167
9	26	7,093
10	26	8,512
11	27	9,409
12	21	3,614
1	27	3,631
2	24	3,783
3	20	3,612
年度計	305	76,898

8月まで計	134	37,244
-------	-----	--------

前年同期比 116.1%

特別展・新収蔵品展等 (H30年8月まで)

展覧会名	開催日数	観覧者数
佐野洋子展	51	18,849
魔法の美術館	51	57,860
深沢幸雄展	33	
ドービーニー展	46	
H30新収蔵品展		
	181	76,709

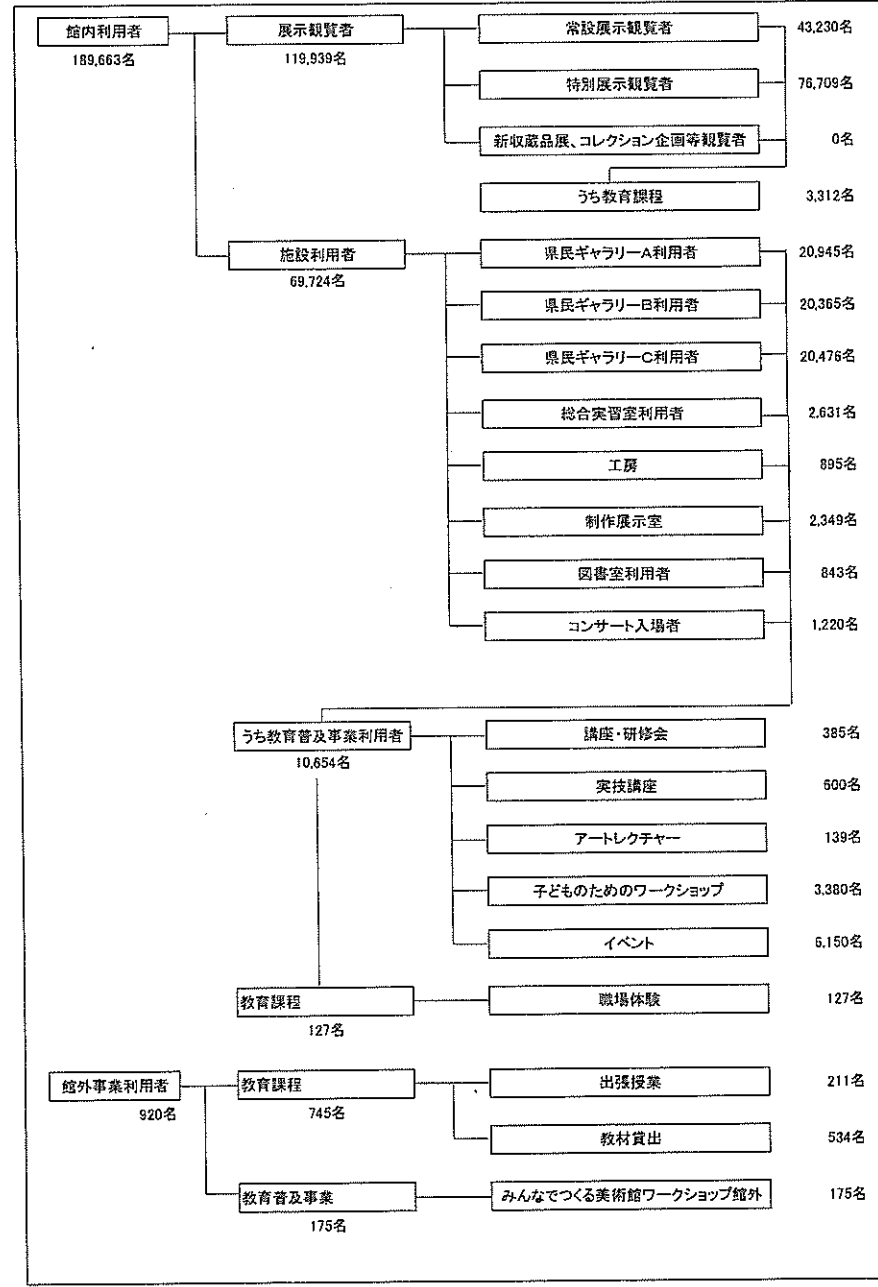
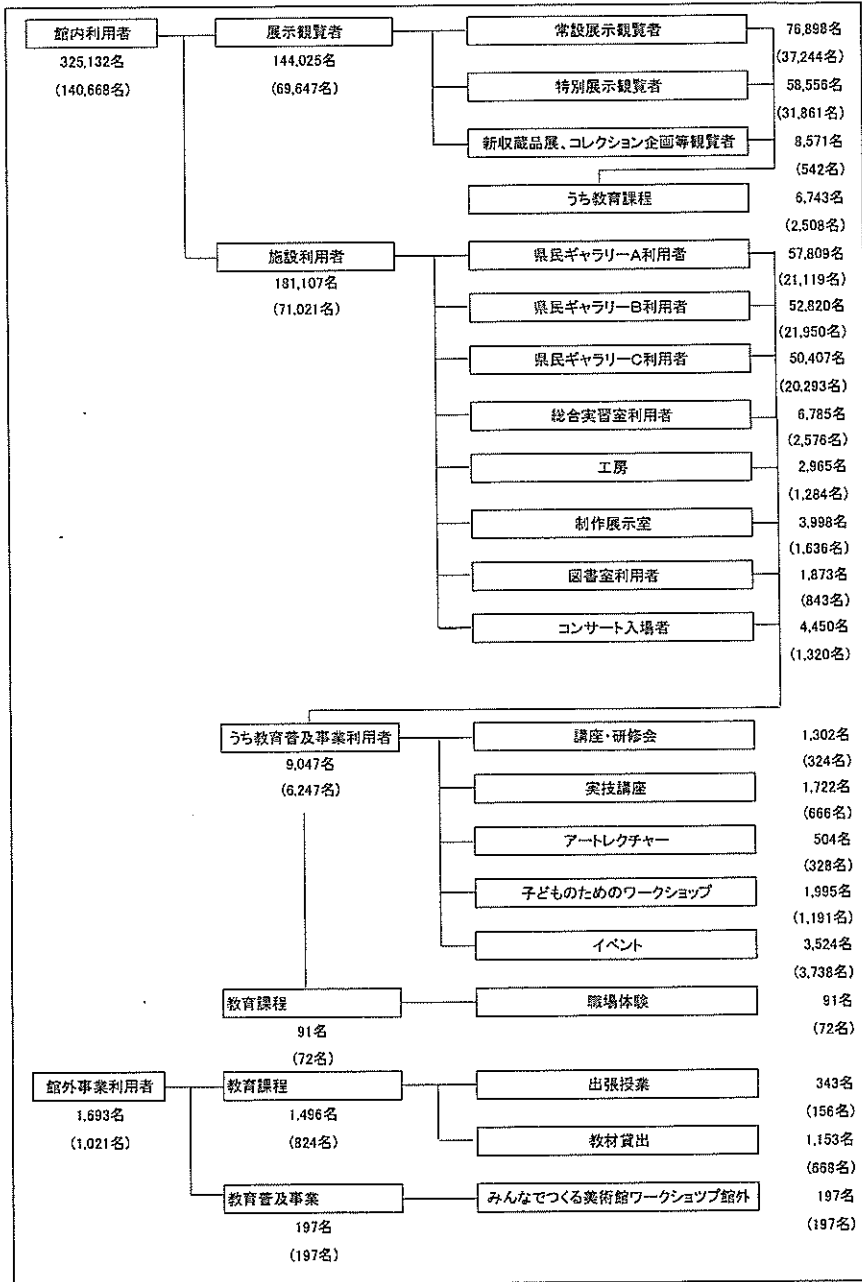
特別展・新収蔵品展等 (H29年度)

展覧会名	開催日数	観覧者数
H28新収蔵品展	2	542
バロックの巨匠たち	51	19,677
私の1枚展	46	11,642
ヴラマンク展	44	13,726
狩野芳崖展	40	13,511
コレクション企画展	55	8,029
	238	67,127

美術館における「利用者」の状況

平成29年度実績。()は8月末現在

平成30年8月末現在



○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

H29(2017)年度

<p>名 称</p>	<p>バロックの巨匠たち ルーベンス、レンブラント、ベラス ケスと栄光の時代展</p>	<p>フジフィルム・フォトコレクション 「私の1枚」 日本の写真史を飾った101人</p>	<p>モーリス・ド・グラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生</p>	<p>狩野芳崖と四天王展 -近代日本画、もうひとつの水脈-</p>
<p>会期</p>	<p>2017年4月15日(土) ～6月11日(日)</p>	<p>2017年7月1日(土) ～8月20日(日)</p>	<p>2017年9月2日(土) ～10月22日(日)</p>	<p>2017年11月3日(金・祝) ～12月17日(日)</p>
<p>展示内容</p>	<p>西洋美術の歴史のなかでも名だたる巨匠たちが登場したバロック期。写実的な描写と明暗法を特徴とするドラマティックなバロック絵画は、見る者の感情に訴えかけ、当時のカトリック教会においては聖書を視覚的に表現するための手段として重要な役割を果たしました。ティツィアーノなどバロック様式に影響を与えた画家たちから、レンブラント、ルーベンスなどオランダとフランドルの画家たち、ベラスケスらスペインの画家たちなどが描き出した華麗なるバロックの世界を約50点で紹介しました。</p>	<p>幕末に写真が渡来してから150年余り、日本では多くの優れた写真家が作品を残してきた。本展では特に重要な101人の写真家が撮影した代表作を高画質の銀塩プリントで日本写真史の軌跡を紹介する。黎明期の下岡蓮杖から、林忠彦、土門拳などが見せた多種多様な表現、今日現役で活動する写真家たちの作品など、日本写真史を語る上で欠かせない作品を展示。また日下部金兵衛、岡田紅陽、白旗史朗など、山梨にゆかりのある作品も含み、日本写真史の流れを改めて見直しました。</p>	<p>20世紀にフランスで活躍した画家、モーリス・ド・グラマンク(1876-1958)の作品について、雪景色、田園風景、村の通りを主題にした風景画や、花を描いた静物画など、グラマンクを代表する画風の作品を描き、独自の画風を追求したヴァル・ドワーズ、シャルトル周辺での制作活動期に焦点を当てて紹介。また、本展では絵画作品のみならず、優れた文筆家として数々の名言を残した作家の魅力が多角的に展覧しました。</p>	<p>近代日本画の原点と称える《悲母観音》を描いた狩野芳崖の四天王と称される岡倉秋水、岡不崩、高屋肖哲、本多天城。本展は、彼らに初めて光を当て、知られざる画業を新出作品や未紹介資料等を通して多角的に辿るとともに、近代日本画を牽引した横山大観、菱田春草らの作品もあわせて展覧。時代の要請によって変容し消えゆく狩野派の残光と、近代化を克服してきら星のごとく絵画史に燦然と輝く大家たちの代表作を紹介しました。</p>
<p>画像</p>				
<p>キャプション</p>	<p>ガイド・レーニ《聖華族—エジプトへの逃避途上の休息》 ヨハネ・パウロ2世美術館蔵</p>	<p>木村伊兵衛 《秋田おばこ 秋田・大曲》 富士フィルム株式会社蔵</p>	<p>モーリス・ド・グラマンク 《サイロ》個人蔵</p>	<p>狩野芳崖《伏龍羅漢図》 福井県立美術館蔵</p>

H30(2018)年度

名 称	佐野洋子の世界展	魔法の美術館展	追悼 深沢幸雄展	シャルル=フランソワ・ドービニー展
会期	2018年4月21日(土) ~6月17日(日)	2018年6月30日(土) ~8月26日(日)	2018年9月1日(土) ~10月8日(月・祝)	2018年10月20日(土) ~12月16日(日)
展示内容	出版40周年を迎えた佐野洋子作『100万回生きたねこ』は、世代を超えて読み継がれている大ロングセラーの絵本。佐野は、第二次世界大戦終戦後、山梨在住の叔父のもとに一家で身を寄せ、子供時代の3年ほどを過ごした。本展では同書を中心に、代表的な絵本やエッセイの原画、版画作品を展示することで、絵本作家・エッセイスト佐野洋子のユニークで豊かな世界を紹介する。	見て、触って、遊んで、学べる体感型メディア・アートの展覧会。体を動かすことで音や光をダイナミックに操ることができる作品や、絵本の世界に迷い込んだような幻想的な作品など、鑑賞する人が積極的に関わることで初めて完成する作品を中心に展示する。光と影が織りなす魔法のアートの世界を、子どもから大人まで、誰でも直感的に楽しめる新しい形の展覧会となる。	2017年1月に死去した深沢幸雄は、1924(大正13)年に山梨県南巨摩郡増穂町(現、富士川町)に生まれ、長く日本を代表する銅版画家の一人として活躍した。本展は、深沢本人が残してきた詩(言葉)を核とし、深沢芸術の検証を試みる。銅版画の代表作を中心に、ノートやスケッチブックなどの資料もあわせて紹介することで、多くの人に愛される深沢芸術の魅力に、深く迫る機会となる。	ドービニー(1817-1878)は画業の早い時期から戸外での制作をおこない、自然が見せる美しさを主題として制作し続け、コロッセーと共に同時代から高い評価を確立した。その後も新たな表現を探求し、より大胆で瑞々しい画風を展開し、印象派の先駆者として位置づけられている。開館40周年、また画家の没後140年を記念する本展は、ドービニーの画業に焦点をあてる国内初の展覧会となる。
画像				
キャプション	『100万回生きたねこ』表紙	坪倉輝明《七色小道》	《ブルネット・ラティエニ/ダンテ『神曲』(地獄篇)より》1956年 山梨県立美術館蔵	《オワーズ河畔》1862年 ランス美術館蔵

教育課程における入館者の状況 平成30年4月1日～8月31日

来館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容			解説	減免	備考(学習形態、体験内容など)
								ミレ ニ シ ョ ン	特別	職場 実技			
4 3	甲府	小	3	○	貫川小	0	3						打合せ
4 3	県外	他			成城大学文芸部1班	195	14	○				○	自主
4 4	甲府	小	3	○	舞鶴小	0	3						打合せ
4 4	甲府	小	2	○	石田小	0	3						打合せ
4 4	甲府	小	1	○	池田小	0	4						打合せ
4 5	県外	他			成城大学文芸部2班	181	27	○				○	自主
4 6	南都	他			都留文科大文学部	132	3	○				○	自主
4 6	県外	他			日本文化大学	271	25	○				○	自主
4 12	中巨	中	2	○	早川中	10	4	○			○	○	解説
4 13	甲府	他			山梨県立大学	79	8	○				○	自主
4 14	南巨	中	2	○	身延中	0	4	○					下見
4 14	県外	他			多摩美術大学のスタイルデザイン専攻	49	4	○					自主
4 19	県外	他			千葉工業大学	0	4	○					下見
4 21	南都	中	2	○	東桂中	0	5	○	○				下見
4 25	県外	他			信州学院大2018年度フレッシュマンセミナー	168	18	○					自主
4 26	東八	中	2	○	六郷中	26	5	○	○			○	解説
4 26	東八	中	2		市川中学校	45	0	○	○				自主
5 8	北巨	中	2	○	明野中学校	4	0	○	○				解説
5 8	南巨	中	2	○	身延中学校	40	2	○	○			○	解説・自主
5 8	北巨	中			長坂中学校	0	1	○	○				下見
5 9	北巨	中	2	○	韮崎東中学校	55	3	○	○			○	解説・自主
5 9	北都	中	2		小菅中学校	3	1	○	○			○	自主
5 11	甲府	小	2	○	石田小学校	37	6	○	○			○	解説・創作
5 11	北巨	中	2		高根中学校	19	0	○	○				自主
5 15	北都	中	2	○	秋山中学校	11	3	○	○			○	解説・自主
5 17	甲府	小	1・2	○	新田1・2年生	38	5	○	○			○	解説・創作
5 17	甲府	中	2	○	押原中学校	44	2	○	○			○	DVD・自主
5 17	中巨	中	2		玉穂中学校	3	0	○	○				自主
5 18	甲府	小	1	○	池田小学校	69	6	○	○			○	解説・創作
5 19	甲府	高			駿台高等学校美術部	83	7	○	○			○	自主
5 22	北都	中	2	○	東桂中学校	70	7	○	○	○		○	解説・バックヤード
5 22	甲巨	中	2	○	戸安中学校	1	0	○	○				解説
5 23	甲府	小	3	○	貫川小学校	54	4	○	○			○	解説
5 23	北巨	中	2	○	長坂中学校	10	1	○	○	○		○	解説・バックヤード
5 25	北巨	中	2	○	武川中学校	21	4	○	○			○	解説
5 29	甲府	小	3	○	新田小3年生	14	4	○	○			○	解説・創作
6 6	県外	高	1	○	女子美術大学附属高等学校	120	10	○	○			○	学芸員による解説
6 8	甲府	小	3	○	舞鶴小	45	5	○	○			○	解説・創作
6 13	北都	中	2		六月中学校	17	0						自主
6 14	甲府	小	6	○	新田小6年生	27	2	○				○	ギャラリートーク準備模写
6 15	甲府	小	4	○	新田小4年	26	2	○	○			○	解説・創作
6 16	中巨	中		○	八田中美術部	20	4		○			○	創作
6 16	中巨	中		○	押原中美術部	18	2		○			○	創作
6 19	中巨	他		○	あけぼの医療福祉センター	3	4						創作

来館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容			解説	減免	備考(学習形態、体験内容など)	
								ミレ ニ シ ョ ン	特別	職場 実技				
6 20	甲府	小	5	○	新田小	25	2	○					○	ミニ道德
7 1	甲府	小		○	かえで支援学校	0	2		○					下見
7 1	甲府	小		○	甲府支援学校	0	1		○					下見
7 3	甲府	小		○	甲府支援学校	7	14		○					自主見学
7 3	南巨	小		○	わかば支援学校富士川分校	4	3		○					特別展
7 5	甲府	高		○	かえで支援学校	12	7	○	○					解説・自主
7 6	中巨	他		○	竜王西児童館	0	2		○					下見
7 10	甲府	他			しらゆり保育園	15	5		○				○	解説・自主
7 11	甲府	他		○	しらゆり保育園	19	4		○				○	解説・自主
7 12	中巨	他		○	竜王西保育園	60	6		○					スクプロ
7 12	甲府	他			仰芽保育園	17	4		○				○	スクプロ
7 14	南都	高			甲斐潤和高校	51	2	○	○				○	コレクション
7 15	中巨	高		○	白根高校	7	0			○				0
7 19	甲府	小		○	池田小学校	82	4	○	○				○	スクプロ
7 20	甲府	他		○	常永保育園	22	3		○					スクプロ
7 20	南都	中			下吉田中学校	13	1	○	○				○	自主
7 24	中巨	中			八田中美術部	20	4	○	○				○	自主
7 25	中巨	中			双葉中学校	26	1	○	○					自主
7 26	甲府	他			かおり幼稚園	80	19		○				○	自主
7 26	北巨	中			韮崎東中学校	24	1	○	○					自主
7 26	北都	中			猿橋中学校	11	2	○	○					自主
7 27	中巨	他		○	竜王西児童館	29	3	○	○				○	スクプロ
7 31	甲府	他			貫川進徳幼稚園	13	3		○				○	自主
8 1	県外	他			女子美術附属高・中学校	44	3	○	○				○	自主
8 1	甲府	他			貫川進徳幼稚園	18	3		○				○	自主
8 2	甲府	他			貫川進徳幼稚園	27	3		○				○	自主
8 2	甲府	他			児童発達支援センターひまわり	7	7		○				○	自主
8 2	甲府	他			つつじが崎学園	11	6		○					自主
8 3	南都	他			都留市東桂保育園	20	3		○					自主
8 5	県外	他			広尾中学校高等学校	13	1	○	○				○	自主
8 7	甲府	他			つつじが崎学園	17	6		○					自主
8 7	県外	他			おとぎクラブ学童保育	46	4		○					自主
8 7	中巨	他			竜王西児童館	32	3		○				○	スクプロ
8 9	甲府	他			ごでまり放課後クラブ	17	2		○					自主
8 9	中巨	他			竜王北児童館	29	3		○					自主
8 10	県外	他			文教大学教育学部国語専修	59	7		○					自主
8 18	県外	他			跡見学園中学高等学校	32	2	○	○					自主
8 21	県外	他			コワカ学園中高	12	2	○	○					自主
8 22	甲府	他			宮前保育園	27	3		○				○	自主
8 22	甲府	他			甲府西幼稚園放課後児童クラブ	39	3		○					自主
8 21	甲府	他			つつじが崎学園	28	3		○					自主

教育課程における入館者数まとめ

◎平成29年4月1日～平成30年3月31日

	校数	生徒数
小学校	47	1506
中学校	71	911
高校	27	1400
その他	12	427
計	157	4244

◎平成30年4月1日～平成30年8月31日

	校数	生徒数
小学校	18	428
中学校	26	511
高校	5	273
その他	36	1811
計	85	3023

くろで2色のえをかこう

印刷機で2つの黒い絵を黒と赤に変換し、合わせて印刷します。
印刷されたものが出てくる時はとってもドキドキしますよ。

🐾 日 時：5月19日（土）

①午前 10:00～11:30

②午後 1:30～3:00

※開始 10 分前までにお集まりください※

- 🐾 会 場：ワークショップ室・特別展示室
- 🐾 対 象：小学生（1～3年生は保護者同伴）
- 🐾 定 員：保護者を含めて各回 20 名
- 🐾 申込期間：4月19日（木）～5月17日（木）



©JIROCHO, Inc./KODANSHA

申し込み方法：電話またはFAXでお申し込みください

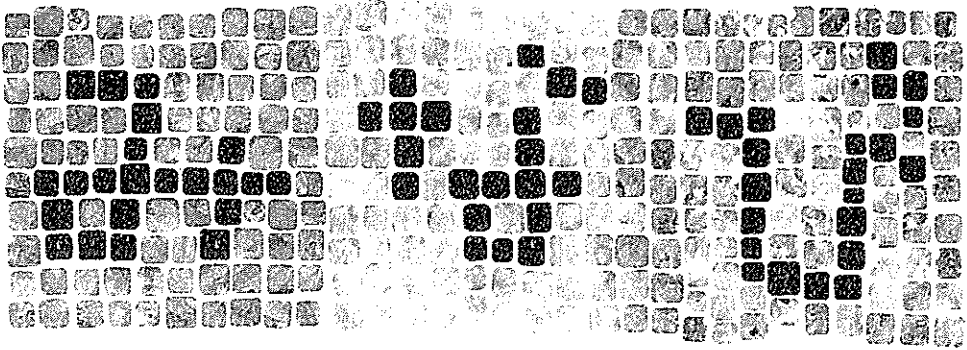
希望時間・参加者全員の氏名（ふりがな）・学年・電話番号（FAXがある方はFAX番号）をお知らせください。（申し込まれた方の個人情報は、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。）

問い合わせ・申し込み先 山梨県立美術館「こども美術館」係
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324



「しっぱい」は「せいこう」のもと

～アイデアいっぱい夢いっぱい～



みんなでつくる美術館

「みんなでつくる美術館(みなび)」は、大人も子どもも、障がいをお持ちの方もどなたでも参加できる参加型展覧会です。ワークショップに参加したり、展覧会を見にきたり、ボランティアとして働いたりしてみませんか。展覧会中は毎日ミニワークショップも開催します。

みなびワークショップ

どなたでも楽しく参加できるワークショップを8回開催します。詳しくは裏面をご覧ください。また、ワークショップで制作した作品の一部を『みなび展』で展示します。

みなび展

会期：平成30年7月25日(水)～8月3日(金)
午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)
場所：山梨県立美術館 県民ギャラリーC、他
毎日ミニワークショップを開催

ボランティアスタッフ募集中

- 主催 みんなでつくる美術館実行委員会・山梨県立美術館
- 協賛 山梨県道徳教育連合会/山梨県社会福祉協議会/NPO市民活動推進局/山梨日報新聞社/山梨放送/テレビ山梨/山梨新聞社/総合新聞甲府総局/テレビ朝日甲府支局/産経新聞甲府支局/毎日新聞甲府支局/読売新聞甲府支局/日本ネットワークサービス/エフエム富士/エフエム甲府/エフエム八ヶ岳
- 協力 河口湖美術館/「第」ディスプレイ選抜/「第」奥田プロセス/「第」二葉/「第」人々堂/「第」にぎわい局/「第」甲府信託/「第」(株)大進/「第」人々こアートワーク/山梨学院大学/昭和大学/たまご社/「第」SPSやまざし/サンドリーフーズ(株)/大塚製薬(株)



種をまく 世界がひろく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art
みんなでつくる美術館(みなび)実行委員会事務局
〒400-0065 甲府市買川11-4-27 山梨県立美術館 宇笠2階内
Tel.055-228-3258 Fax.055-228-3418
http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/



みなびワークショップ 「しっぱい」「せいこう」のもと

～アイデアいっぱい夢いっぱい～

①7月11日(水) ①午前10:00～11:30
②午後1:30～3:00

「仮面で変身！」

会場：県立美術館 ワークショップ室
講師：高橋辰雄氏(作家)
箱をつかって、ちょっと変なものをつくらう！
空き箱があつたら持ってきてね。
※県立美術館わがまま(日探が、者のための集)といっしょです。

②7月14日(土) 午後1:30～3:30

「色と踊って世界をつくらう」

会場：河口湖美術館 芝生広場
講師：鈴木つな氏(ダンサー)
大きな紙や長い紙とあそび、体をつかって色をつけます。
※手や足に絵の具をつけるので汚れてもよい服装でお越し下さい。
※野外での活動もありますので虫よけ、暑さ対策をしてお越し下さい。

③7月22日(日)・24日(火)
午後1:30～3:30 2日間通して行います。

「みんなでたまご」

会場：県立美術館 県民ギャラリーC
講師：渡辺弥生氏(美術教室代表)
対象：なるべく2日間参加できる方
風船ぐらいの大きな卵をつくります。
時間がかかって大仕事！
さて中にひそんでいるものはいったい何？

④7月25日(水)
午後1:30～3:30

「壁をのぼる生き物」

会場：県立美術館 ワークショップ室
講師：県立美術館職員、他
県民ギャラリーの壁をつかって、たのしい展示をつくりましょう。

⑤7月27日(金)
午後1:30～3:30

「ねばねばつなげて 広げよう！」

会場：県立美術館 ワークショップ室、
芸術の森公園
講師：田中静雄氏(書道教室代表)
白い納豆のフタを森の中につなげていきます。どんな音がきこえるかな？
どんな世界が広がるかな？
※たくさん納豆のフタを使いますので当日ぜひ持ってきて下さい。
※野外での活動になりますので虫よけ、暑さ対策をしてお越し下さい。

⑥7月29日(日) 午後1:30～3:30

「大人の造形広場『Big バルーン』」

会場：県立美術館 ワークショップ室
講師：伊藤美輝氏(山梨学院短期大学教授)
大人もおどろきや、子どももおどろく。
Big バルーンをつくらう！とぼそう！
※野外での活動もありますので虫よけ、暑さ対策をしてお越し下さい。

⑦8月1日(水)
午後1:30～3:30

「どろだんごで種づくり」

会場：県立美術館 ワークショップ室、
ミュージアムコート
講師：石田泰道氏(甲府第一高校教師、作家)とその生徒
土をこねて不思議な種をつくらう！ホンモノの種をうめこんで、水をかけてあげると芽がでてくるかも。
※野外での活動になりますので虫よけ、暑さ対策をしてお越し下さい。

⑧8月2日(木)
午後1:30～3:30

「Let's ダンス! 腹のムシ」

会場：県立美術館 講堂
講師：鈴木つな氏(ダンサー)
顔で笑って、心で泣いて、なんだかつぶやく腹のムシ。すべて忘れて、たのしもう！

- ★団体で参加される場合は、予め事務局(Tel.055-228-3258)へご連絡ください。
- ★汚れてもよい服装、暑さ対策の準備をお願いします。
- ★ワークショップの内容は変更になる場合があります。最新情報は県立美術館ホームページをご覧ください。
- ★開始時間10分前までに来てください。各回定員は先着100名程度です。
- ★駐車場が十分に確保できないため、お車の場合は乗り合わせてお越し下さい。

みなび展 7月25日(水)～8月3日(金) 7月30日(月)は休館

県立美術館 県民ギャラリーC、他 午前9:00～午後5:00(最終日は午後3:00まで)

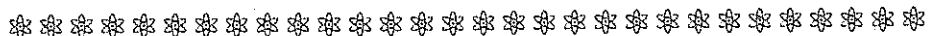
入場無料

- 上記のワークショップの作品や、ワークショップの様子(ビデオや写真)を展示しています。また、近隣の小学生が描いた《樹人》などの作品展示もしています。
- みなび展会期中は毎日ミニワークショップを行います。お楽しみに！
- 作品返却は会期中常時行いますので、ご要望の方は係員までお申し付けください。取りにこられない方は、後日、美術館へお越し下さい。作品は9月中旬まで保管しています。



<平成30年度の予定>

協力：山梨学院短期大学保育科



つくろう!あそぼう! **造形広場**

5月5日・6月2日・7月7日・8月4日

9月8日・10月13日・11月10日・12月15日

1月5日・2月9日・3月2日

すべて土曜日に開催

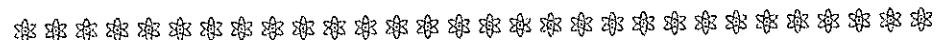
場所：ワークショップ室

時間：午後1：30～3：30

対象：小学生以下とその保護者

定員：先着100名程度（申込不要）

※開始時刻の10分前にはお集まりください※



創作教室

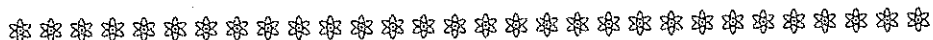
12月22日（土）・3月23日（土）

場所：ワークショップ室

時間：午後1：30～3：30（予定）

対象：小学生以上（低学年が参加する場合は保護者同伴）

定員：各回ごとに異なります（申込が必要）

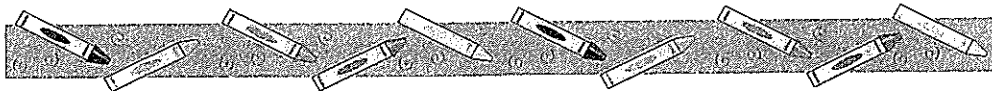


*日にち、内容、時間など直前の変更もあります。

各回の詳細はホームページまたは直前のチラシでご確認ください。

お問い合わせ

〒400-0065 山梨県甲府市貫川1-4-27
山梨県立美術館 造形広場・創作教室係
TEL. 055-228-3322



キッズ・プログラム



～ 特別展を中心とした、小・中学生が楽しめる内容のプログラムです ～

プログラム名	開催日時	イベント内容（□は特別展名）	対象	申込期間
こども美術館① 「くろで2色のえをかこう」	5月19日（土） ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00	～愛されて40年～ 100万回生きたねこ 佐野洋子の世界展 印刷機で2つの黒い絵を黒と赤に交換し、合わせて印刷します。印刷されたものが出てくるとはとってもドキドキしますよ。	小学生 (小学1～3年生は保護者同伴)	4月19日 5月17日
こども美術館② 「ウゴケ!コマ!」	7月15日（日） ①午前10:00～12:00 ②午後1:30～3:30	魔法の美術館 光と遊ぶ、真夏のファンダーランド ブロックやタブレットを使って、自分だけのコマ撮りアニメーションを作りましょう。	小学生～中学生 (小学1～3年生は保護者同伴)	6月12日 7月8日
こども美術館③ 「凹凸（ポコポコ）版画を楽しもう!」	9月29日（土） ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00	銅版画の詩人 追悼 深沢幸雄展 深沢幸雄の作品を鑑賞し、好きな物語をもとに凹版で作品を作りましょう。	小学生 (小学1～3年生は保護者同伴)	8月28日 9月23日
こども美術館④ 「集まれ!『キラキラ』探検隊!!」	11月11日（日） ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00	シャルル=フランソワ・ドービニー バルビゾン派から印象派への架け橋 光はどんな姿をしているのでしょうか。あなたならどんな風に表現しますか。芸術の森公園と展示室をめぐって、いろんな「キラキラ」を見つけてみよう!（雨天決行）	小学生～中学生 (小学1～3年生は保護者同伴)	10月10日 11月4日

プログラムの内容・日程は予告なく変更になることがあります。詳細は最新の館内チラシでご確認ください。

各プログラムは申し込みが必要です。対象学年をご確認の上、お申し込みください

申し込み方法：電話またはFAXでお申し込みください。

①希望コース名②参加者全員の氏名（ふりがな）③学年④電話番号（FAXがある方はFAX番号）をお知らせください。

（申し込まれた方の個人情報は、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。）



問い合わせ・申し込み先：山梨県立美術館「キッズ・プログラム」係

Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324
(電話受付時間：開館日 9：00～17：00)

様々な美術表現を体験しながら、生涯の楽しみや美術作品の鑑賞の糸口を見つけてみませんか。初めて挑戦される方のための初心者コース、技術を深めてみたい方には実技講座を開設します。また、もう少し気軽に創る喜びに接していただけるよう、障がいをお持ちの方、幼児など、どなたでも参加できる「わかば講座」(旧、障がい者のための講座)も設けましたので、ご利用ください。その他、制作場所や、版画プレス機などを提供するオープンアトリエ(別表)もご活用ください。

No.	講座名/講師	内容・期間(日時)	申込期間
1	木版画 初心者コース 美術館職員	木版画に触れる初心者向けの講座です。単色木版画を制作します。この初心者コース受講者でNo.3の[木版画]講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 講座日:4月22日(日) 午前10:00~午後3:30 材料費約800円	3月30日~4月6日
2	フレスコ画 作家: 區永泰雄	フレスコ画の歴史と技法を学び、小品を制作します。2日間参加できる方を対象とします。 作家指導日:4月29日(日)・30日(月・振休) 午前10:00~午後4:00 材料費約1,000円	3月30日~4月6日
3	木版画 作家: 河内成幸	本格的な多色木版画に挑戦します。作家指導日4回参加できる方を対象とします。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 作家指導日:5月12日(土)13日(日)・26日(土)・27日(日) 午前10:00~午後4:00 ※5月15日(火)~25日(金)は工房にて自主制作可 *材料購入希望者は4月22日(日)午後3:30~工房にて注文を受け付けます。	4月5日~11日
4	わかば講座 (旧、障がい者のための講座) 色や形を楽しもう! 作家: 高橋辰雄	★[みなび(みんなで作る美術館)]のワークショップの1つです。障がいをお持ちの方、幼児、大人、あらゆる方に創ることの楽しさを味わっていただきたいと思ひます。どなたでも参加できます。 講座日:7月11日(水)①午前10:00~11:30 ②午後1:30~3:00 上記の①②から希望の時間をお選びください。 ★保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体でも参加できます。★基本的に申し込みの必要はありませんが特別に配慮の必要障がいをお持ちの方や、施設、画、学校など団体で参加される場合は事前に参加人数をご連絡ください。	団体参加の場合のみ事前にお申し込みください。
5	スクリーン・プリント 初心者コース 美術館職員	孔版(スクリーン・プリント/シルクスクリン)を理解する初心者向けの講座です。この初心者コース受講者でNo.6の[スクリーン・プリント]講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 講座日:9月2日(日) 午前10:00~午後3:30 材料費約800円	8月9日~16日
6	スクリーン・プリント 作家: 天野純治	スクリーン・プリント(シルクスクリン)で自分なりの作品を創ってみませんか。作家指導日4回参加できる方を対象とします。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 作家指導日:9月16日(日)・23日(日)・24日(月・振休)・30日(日) 午前10:00~午後4:00 ※9月17日(月・祝)~29日(土)は工房にて自主制作可 *材料購入希望者は9月2日(日)午後3:30~工房にて注文を受け付けます。	8月9日~16日
7	日本画 作家: 目黒祥元	日本画はどのような材料を使って描くのでしょうか。初心者には初日に材料など詳しく説明します。経験者は自由制作を中心に行います。 作家指導日:10月28日(日)・11月17日(土)・18日(日)・24日(土)・25日(日) 午前10:00~午後4:00 ※11月20日(火)~23日(金・祝)は工房にて自主制作可 *材料購入希望者は10月28日(日)午後3:30~工房にて注文を受け付けます。	10月4日~11日
8	油彩画 作家: 古屋良昭	作家の制作に対する考えをうかがいながら、技法の指導を受け制作します。作家指導日4回参加できる方を対象とします。 作家指導日:1月13日(日)・20日(日)・27日(日)・2月3日(日) 午前10:00~午後4:00 ※1月14日(月・祝)~2月2日(土)は工房にて自主制作可	12月13日~20日
9	現代美術 作家: 長谷川 創	ポップアートを意識して、アルミ缶を素材に身近な日用品を表現してみましょう。金属板を手作業で工作し造形物を作ります。作家指導日2回参加できる方を対象とします。 作家指導日:2月24日(日)・3月3日(日) 午前10:00~午後4:00 ※2月26日(火)~3月1日(金)は工房にて自主制作可	1月25日~2月2日

オープンアトリエ

実技講座で学んだことを生かし引き続き制作したい方や、版画、油彩、日本画などを専門的に制作している方に制作の場所を提供します。

★オープンアトリエは一度申し込みいただければ、通年でご参加いただけます。

★作家による指導はありませんが、版画制作者へは指導員が初心者との相談にのります。版画制作者はインク、薬品等の共用品代が必要になります。別途お知らせします。

講座名	期間(日時)	申込期間
オープン・アトリエ①	4月1日(日)~4月28日(土) 午前9:00~午後4:30 4月22日(日)は除く	3月23日~4月10日
オープン・アトリエ②	5月29日(火)~6月29日(金) 午前9:00~午後4:30 6月2日(土)は除く	5月20日~27日
オープン・アトリエ③	8月28日(火)~9月14日(金) 午前9:00~午後4:30 9月2日(日)、8日(土)は除く	8月19日~26日
オープン・アトリエ④	10月2日(火)~10月27日(土) 午前9:00~午後4:30 10月13日(土)は除く	9月23日~30日
オープン・アトリエ⑤	2月5日(火)~2月23日(土) 午前9:00~午後4:30 2月9日(土)は除く	1月27日~2月3日

注意事項

- ★ 対象は中学生以上(除くNo.4)、定員は約20名。初めて講座を受けられる方が優先です。初めての方が多数の場合は、申込期間内に受け付けた方から抽選させていただきます。
- ★ 受講料は無料です。ただし、別途材料費を必要とする講座もあります。
- ★ 必要な用具・材料は通知(返信はがき)をご覧ください。初心者コースは、美術館で材料を準備します。
- ★ 講座終了日には大掃除がありますので協力ください。
- ★ 自主制作可能日やオープンアトリエ中、美術館のイベント等で工房が使用できない日が発生した場合は、事前にお知らせいたしますのでご協力願います。

申し込み方法

往復はがきで申し込み期間内に(消印有効)お申し込みください。
往信面に ①講座名 ②〒・住所 ③氏名・年齢(学生の場合は学校名・学年)
④電話番号(FAX番号も) ⑤経験の有無を記入してください。
返信面には申込者の〒・住所・氏名を必ず記入してください。
※申し込まれた方の個人情報、本事業のみを目的とし、当館で適切に管理します。

申し込み先

山梨県立美術館「美術体験・実技講座」係
〒400-0065 甲府市箕川1-4-27
TEL 055-228-3322(代表) Fax 055-228-3418(学芸課直通)

平成30年度 上半期美術館協議会

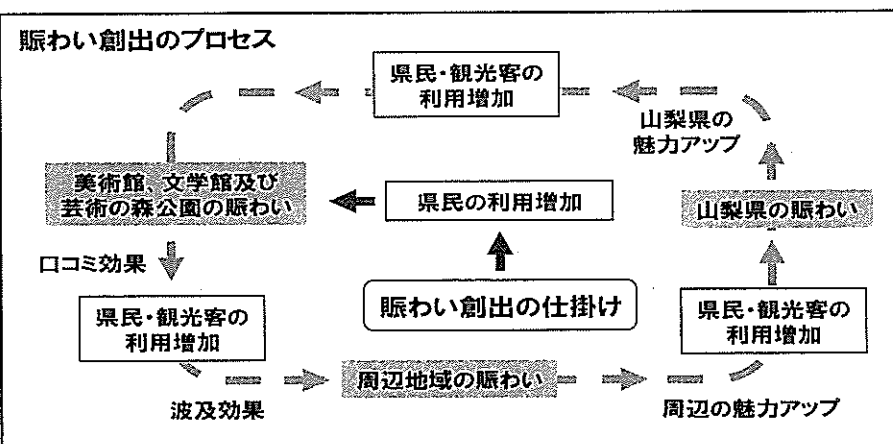
山梨県立美術館指定管理者
株式会社SPSやまなし

目次

1. 2期目の指定管理期間における目指す姿
2. 賑わいの創出
 - ・ 展覧会観覧誘致のための広報活動
 - ・ 露出度アップのための広報戦略
3. ホスピタリティデザインの構築
 - ・ 研修及び館内避難訓練
4. 基盤整備
5. 下半期に予定している活動

美術館、文学館及び芸術の森公園が目指す姿

- 県民が日常的に活用する施設であり、県民の誇りでもある施設
- 県内の賑わいを創出する旗艦として機能する施設

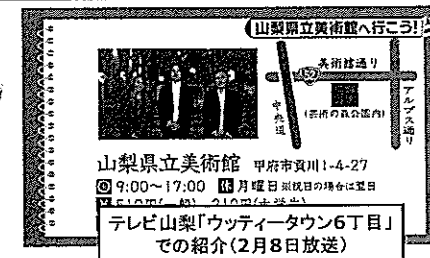
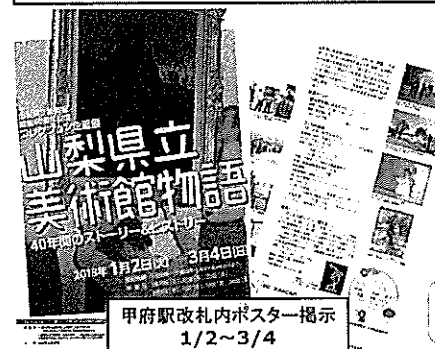


指定管理者活動トピックス

【2-1】展覧会観覧誘致のための広報活動

コレクション企画展「山梨県立美術館物語」
2018年1月2日(火)～3月4日(日)

テレビ番組での紹介や、旅行雑誌「るるぶ」や月刊ギャラリーへ等への広告掲載の影響もあり、観覧者目標を達成することができた。館内設置アンケートの集計データによると、県外からの観覧者が42%と通常の展覧会よりも多い数字となった。(館内アンケートより)



<観覧者実績> 8,029名 (予比100%)

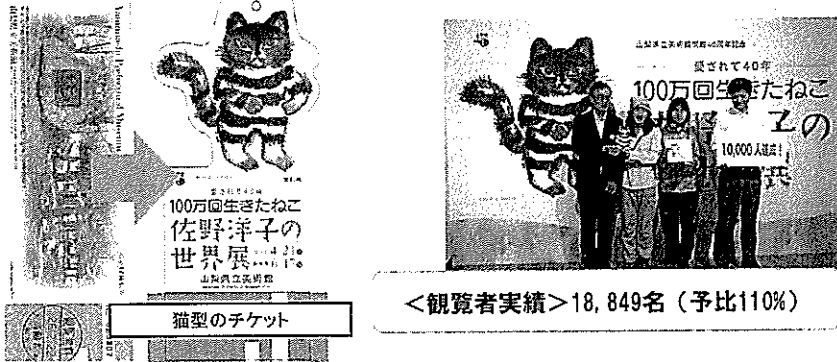
指定管理者活動トピックス

【2-2】 展覧会観覧誘致のための広報活動

特別展「佐野洋子の世界展」

2018年4月21日(土)～6月17日(日)

猫型のチケットが好評で、観覧者がSNSで発信し、展覧会情報が拡散する結果となった。また、学校図書館を対象とした「図書館教育ニュース」、絵本専門雑誌「MOE」等への掲載や、展覧会終盤まで新しいテレビCM等を提案実施したことにより、終盤まで観覧者数をのばすことに成功した。



<観覧者実績> 18,849名 (予比110%)

指定管理者活動トピックス

【2-3】 展覧会観覧誘致のための広報活動

特別展「魔法の美術館」

2018年6月30日(土)～8月26日(日)

広報ターゲットをファミリー層に絞り、県内で発行している若い世代の主婦層向け雑誌に広告や記事を掲載し周知を行った。また、山梨県内の全ての幼稚園・保育園へ電話をかけ、全ての子どもにチラシが行き届くよう協力をお願いした。土日祝や夏休みはご家族連れで大賑わい、観覧者目標を大きく上回った。

<来館5万人セレモニー>



<観覧者実績> 57,860名 (予比238%)

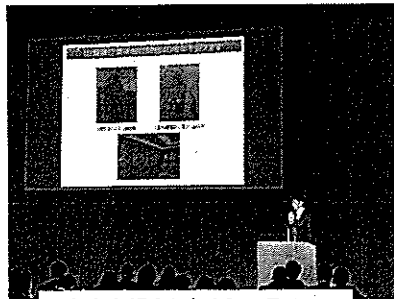
指定管理者活動トピックス

【2-4】 露出度アップのための広報戦略

旅行社商談会への参加(東京2/6、名古屋2/21)

「るるぶ山梨」への広告掲載

旅行会社向けの商談会に出席し参加企業52社へ向けたプレゼンを行った。企業別での商談では、東京会場11社、名古屋会場6社へ施設の魅力をアピールした。その他、県外観光客をターゲットとした取組みとしては、情報収集ツールとして有力な旅行情報誌「るるぶ」へ見開きページで出稿などを行った。



東京会場(六本木):2月6日
名古屋会場:2月21日

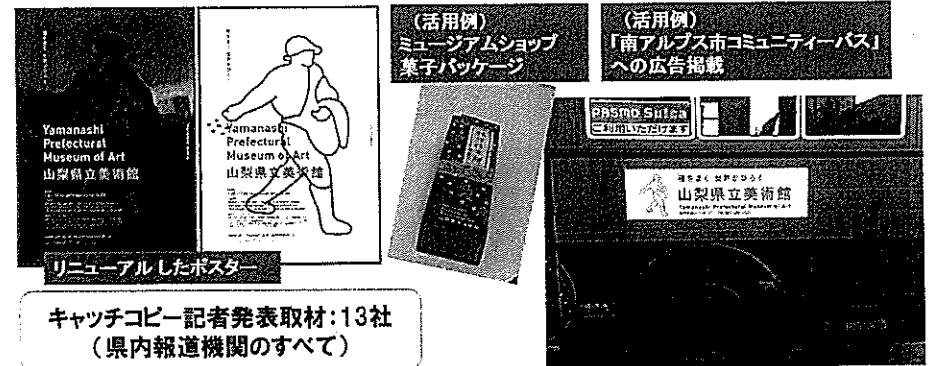


指定管理者活動トピックス

【2-5】 露出度アップのための広報戦略

広報活動「キャッチコピー記者発表」(4/13)と活用

美術館のキャッチコピー「種をまく 世界がひらく」と、リニューアルした2種類のポスターおよび《種をまく人》アイコンをモチーフにしたミュージアムショップ新グッズについて青柳館長から記者発表を行った。事前に個別訪問した効果もあり、県内報道機関(新聞・放送)のすべて13社の取材を獲得した。



キャッチコピー記者発表取材:13社
(県内報道機関のすべて)

指定管理者活動トピックス 【2-6】露出度アップのための広報戦略

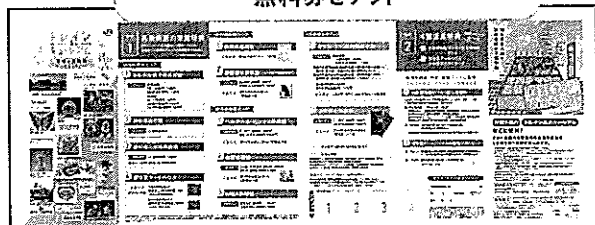
広報活動 各交通系機関との連携(①JAF②JR東海)

来館者の利用頻度の高い交通手段(自動車、電車)を切り口に、来館者の層をさらに広げる取組みを検討した。①はJAF山梨支部発行の会員誌への掲載、②は昨年に続きJR東海と連携し、トレイン&ミュージアム(スタンプラリー)を実施した。

① JAF山梨支部「JAF PLUS」
期間限定優待を用意(4/3~)



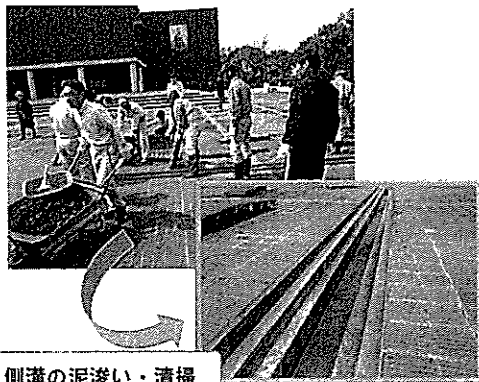
② JR東海とのコラボ企画(7/13~12/9)
山梨県と静岡県内の美術館を巡り
無料券をゲット



指定管理者活動トピックス 【4-1】基盤整備

2ヶ月に1回行なっているクリーンキャンペーンで、1月、3月と継続して、さんさん広場側溝とその蓋の泥溜いを実施した。雨水があふれる恐れがあり、その回避と施設・公園内の美化に努めた。

また、敷地内のレンガが盛りあがり、公園利用者や車椅子の通行が危険な箇所について早急にレンガの張り直しを行なった(3/26~28)。



側溝の泥溜い・清掃

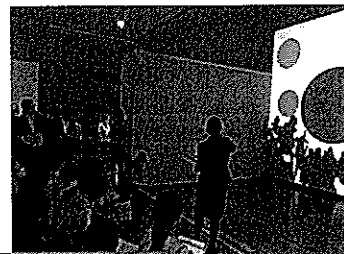


レンガの補修

指定管理者活動トピックス 【3-1】ホスピタリティデザインの構築

外部研修参加(2/6、3/19) スタッフ全体研修実施(4/16、6/18、9/24)

『ユニバーサルデザイン』に関する外部研修をスタッフ4名が受講。また、入社1年以内のメンバーを対象に、より良い印象を与える接客研修を実施した。スタッフ全員が一緒に参加する全体研修では、通常の監視スタイルとは異なる特別展『魔法の美術館』のオペレーション確認を含め、品質向上に努めた。集合研修では、避難訓練も繰り返し実施し、緊急時に常に安全・安心な対応がとれるよう心がけている。



「魔法の美術館」勉強会



避難訓練/担架の使い方

指定管理者活動トピックス 【4-2】基盤整備

県HPにサリン散布脅迫メール(6/18)が告知されたことを受け、県総務課、学芸課、資料情報課と有事の際の対策を検討し、トイレの巡回、裏導線の巡回、扉の施錠、注意看板等を設置し、緊急時に備えた。

また、日頃から維持管理を行なっているバラ園や菖蒲園が身頃となり、多数の取材を受けた。県民の方が四季折々楽しめるよう管理をしていく。



特別警戒実施の表示

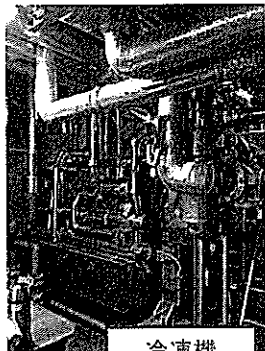


バラ園(取材3社)
↓ 菖蒲園(取材4社)

指定管理者活動トピックス

【4-3】基盤整備 冷凍機の故障対応

冷凍機1、2号機が老朽化のため冷水作成が不能となり、夏場の美術館本館の空調に影響が生じた。空調を2日間ストップさせるなど応急処置で復旧させたが不安定な状態が続いたため、最終的に修繕を行い(9月6日完了)、現在は正常稼動に至っている。



冷凍機



再生器の一部に穴



部品交換完了

指定管理者活動トピックス

【5】下半期に予定している活動

美術館40周年 & Beyondに向けた取組み

- ・ キャッチコピー等を用いた広報活動
- ・ 関連イベントの企画実施
- ・ 館内連携とおもてなし接遇の強化

かぞくでアートたいむ

Musee Marche
ミュゼマルシェ

芸術の森公園
野外彫刻たんけんツアー

基盤整備
(老朽化対策)

展覧会と関連付けた活動、賑わいの創出に繋がる活動を実施していく

